

京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

クシャーン朝期、ポスト・クシャーン朝期の歴史と考古

2. 主宰責任者氏名

岩井 俊平(龍谷大学大学・准教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

日時:2019年2月9日 15:00～

場所:龍谷大学龍谷ミュージアム 101 講義室

演題等:テルメズの仏教遺跡の調査とその成果:2014-2018

講演者または報告者:岩本 篤志 氏(立正大学文学部・准教授)

4. 概要(400字程度)

立正大学が実施しているウズベキスタン共和国テルメズ周辺における発掘調査および仏塔の保存事業に関して、岩本氏より詳細な報告をしていただき、新出の壁画や遺構のあり方について、活発な議論が取り交わされた。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

学外

岩本篤志(立正大学文学部・准教授)、入澤崇(龍谷大学・教授)、井上豪、岩井俊平(龍谷大学・准教授)

学内

内記理(文化財総合研究センター・助教)、

所内

稲葉穰、中西竜也

6. 助成金の使途等

岩本氏の往復交通費(東京・京都間)、宿泊費、および日当に充てた。